中東情勢への対応について

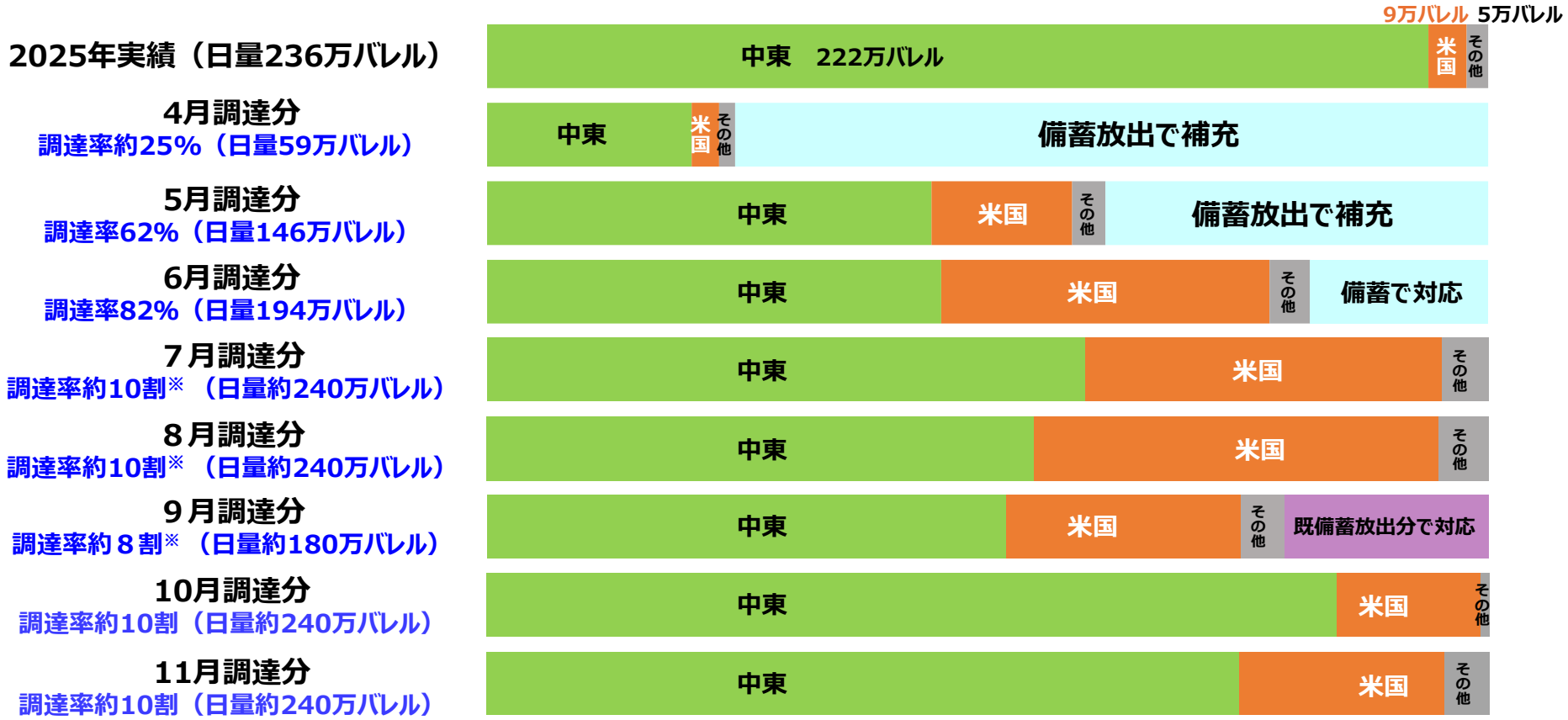
令和８年１０月３０日

農林水産省

我が国の原油調達の動向

中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保のためのタスクフォース（第６回）資料

- ホルムズ海峡を経由しない代替調達について、官民連携のもと最大限取り組んでおり、中東や米国に加え、アジア太平洋、中南米、中央アジア、アフリカ、カナダ等からも原油が届くなど、原油の調達先の多角化が進展。
- 10月については、**前年平月比で約10割の調達が実現できる見通し**。
- 11月についても、**現時点で、前年平月比約10割の調達が実現できる目途が立ったところ**。
- これを踏まえ、**11月についても国家備蓄放出の決定を行わない方針**。



※：９月の調達分には、7月及び8月に前年平月比を超えて調達した分を含む。

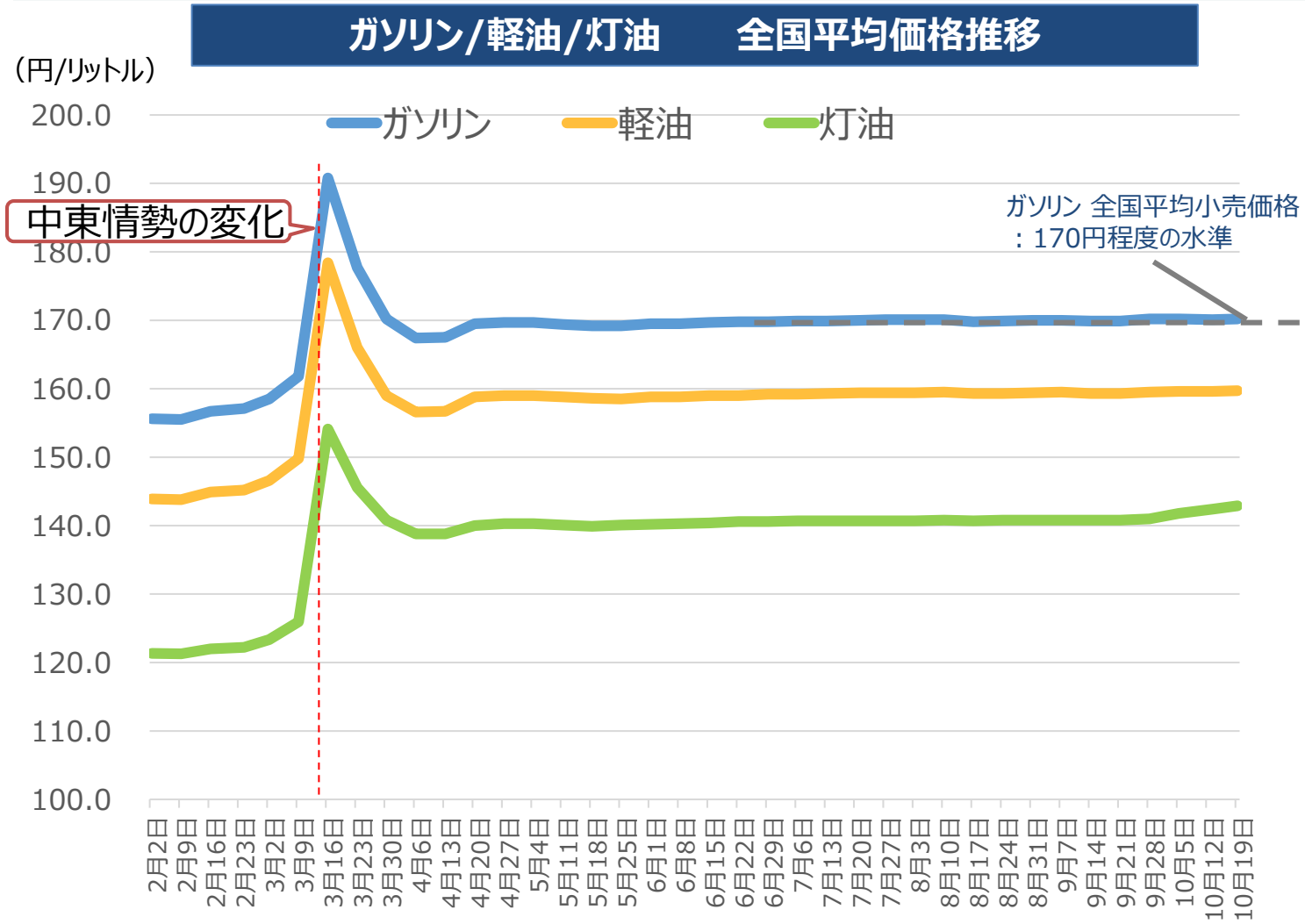
注１：4～9月の実績値は製油所に到達した原油量の総量であり、各種統計との誤差が生じることがある。

注２：10月30日時点。原油タンカーの配船・運航状況等により、遅れが生じれば日本着が後ろ倒しになるため、月ごとの調達量には変動が生じ得る。

注３：上記表示以外の詳細な国名やルートについては、民間企業の契約に関する事柄であることに加え、安全対策上の理由から非公表としている。

緊急的な激変緩和措置について

- **緊急的な激変緩和措置を３月19日（木）から実施**。
- **ガソリン小売価格を全国平均で１リッター当たり170円程度に抑制**するための補助を実施。
  軽油、灯油、重油はガソリンと同額、**国内航空機燃料は９月３日(木)より、その８割**を補助。
- これにより、制度開始前の３月16日（月）に**190.8円であったガソリンの全国平均小売価格は、170円程度**、軽油、灯油もそれぞれ160円程度、140円程度の水準に低下。



3月16日（月）
ガソリン　190.8円
軽油　178.4円
灯油　154.1円

ガソリン　170円程度
軽油　160円程度
灯油　140円程度
の水準

＜ナフサ由来の化学製品の供給見通し＞

- 足元では、**国内でのナフサの精製、代替調達、川中の製品調達が安定的に継続**。その結果、**川中在庫については、取り崩しがなくなり、平時の水準（２か月分）に回復**しており、**ナフサ由来の化学製品の供給は安定的に推移している**。

＜ナフサ国際価格の推移＞

- **２月27日（中東情勢発生前日）**のナフサのスポット価格は**588.28ドル/ｔ**。
- ４月８日に1011.5ドル/ｔまで上昇したが、足下**10月23日時点では942.76ドル/ｔ**で、**2月27日比＋60%**。
- 史上最高値は、2008年7月の1,180ドル/ｔ、ウクライナ危機の最高値は2022年2月の1,078ドル。



（資料）Trading economics

石油の流通円滑化対策の強化

- **日本全体の石油供給は足りている**が、**流通段階で目詰まり**が発生しているため、**対策を一層強化**

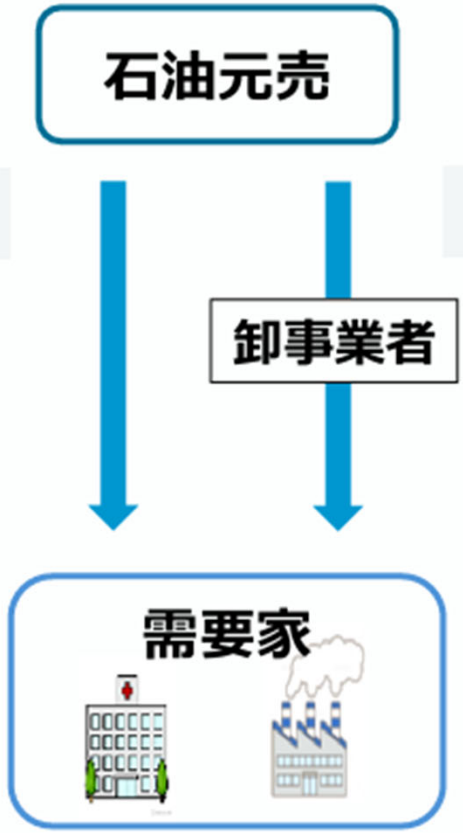
①政府の重要物資タスクフォースの要請に基づき、**重要施設向けには元売から直接販売**。

②元売から卸事業者向け販売は、**系列・非系列にかかわらず**、**前年同月比同量を基本**とするよう、**大手元売事業者に要請**。加えて、**大手卸売事業者にも、これに準じた要請を実施**。

石油の流通円滑化対策

①直接販売ルート新設

- 政府のタスクフォースが認めた重要施設（医療・交通・公共サービス・農業・水産業・畜産業・重要物資の製造業等）向けは元売が直売



②流通段階の対策強化

- 前年同月比で同量の販売が基本

灯油の流通円滑化対策の強化施策（灯油直販スキーム等）について

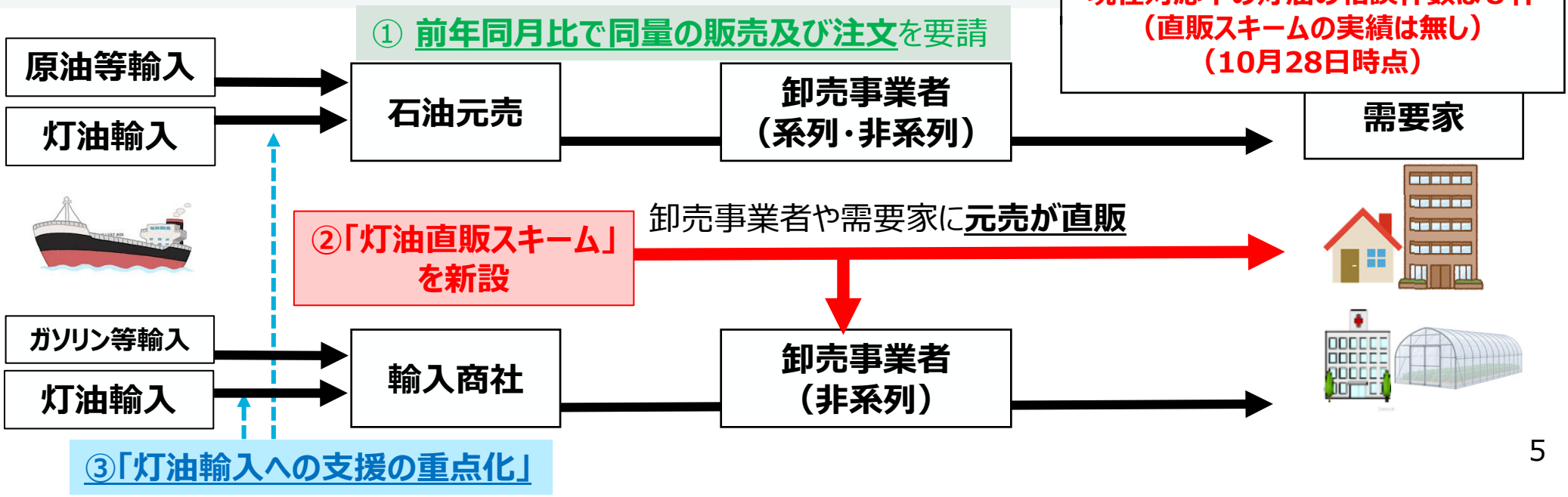
① 10月16日（金）**石油元売事業者・輸入事業者**に対し、卸売事業者向け販売は、**系列・非系列にかかわらず**、**前年同月比同量を基本**とするよう、要請するとともに、**卸売事業者**に対しても、**前年同月比同量を基本とした注文及び販売**を行うよう要請。

② また同日、**「灯油直販スキーム」を新設**し、供給の偏りや流通の目詰まりが発生する場合には、**灯油の卸売事業者や医療分野、農業分野などの需要家**に対し、**石油元売事業者から直接販売を実施**。

③ **緊急的激変緩和措置の調整単価**について、**輸入灯油**に対し、**輸入価格と国内卸価格の差額**を**「輸入灯油調整単価」として支給**し、**灯油輸入への支援を重点化する**（**灯油の需要期である11月から３月までの措置**）。

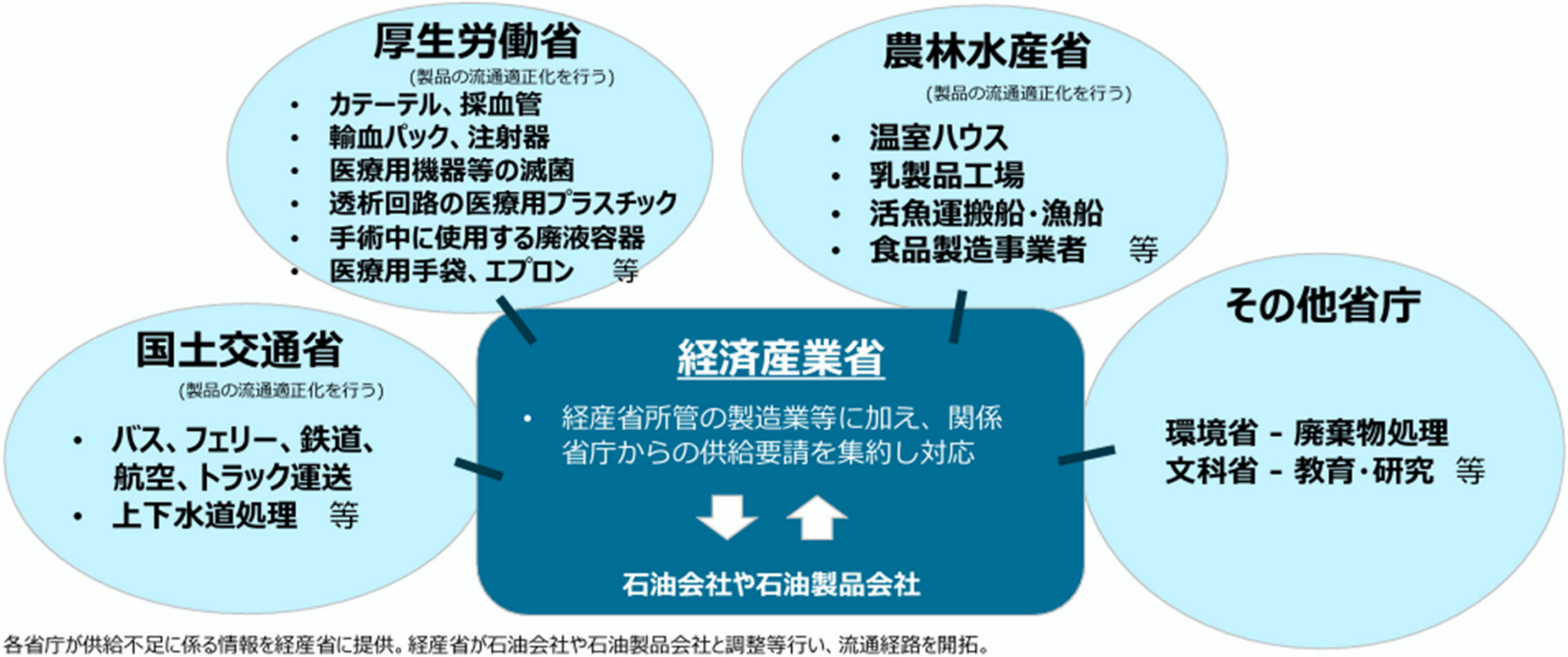
④ 加えて、**小売価格のモニタリングを10月23日（金）から強化**。**卸価格の変動を踏まえた小売価格となっているか**等の確認を行う。

現在対応中の灯油の相談件数は８件
（直販スキームの実績は無し）
（10月28日時点）



供給支援に向けた関係省庁との体制構築

- 国民の皆様の命と暮らしを守るという観点から、高市総理の指示を踏まえ、工業のみならず農業、医療等に関係するものも含むサプライチェーン全体について対応方針を取りまとめる。
- 人命に関わるものを最優先に、ひとつひとつ迅速かつ丁寧に解決につなげていく。



※ 各省庁が供給不足に係る情報を経産省に提供。経産省が石油会社や石油製品会社と調整等行い、流通経路を開拓。

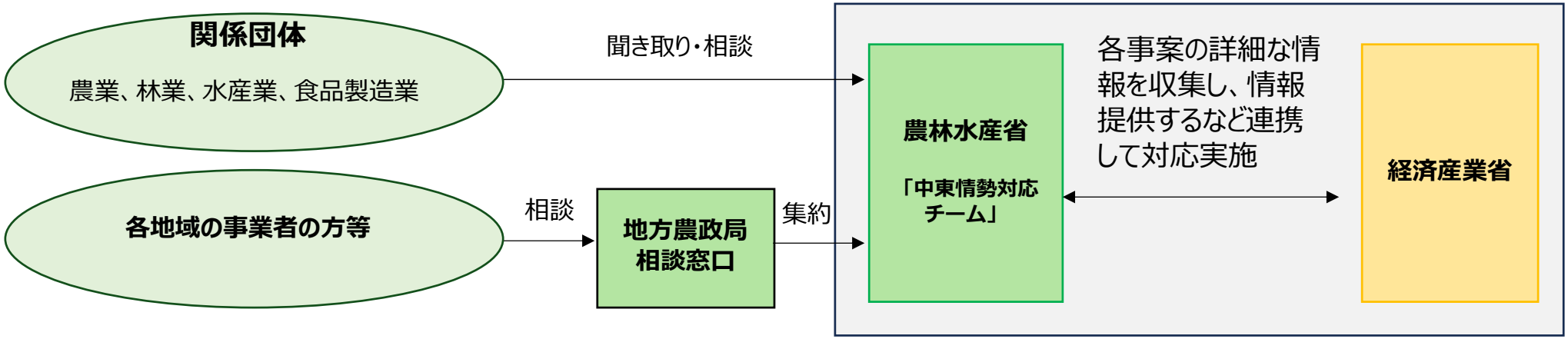
農林水産分野における体制の構築①

○ 農林水産省においても、**相談窓口を設置**し、燃料油や石油製品等の安定確保への不安の声へ対応。
○ いただいたご相談については、経済産業省とも連携し、その原因や経緯を一つ一つ解きほぐしながら、円滑な供給が行われるよう適切に対応。

○　本省及び地方農政局に相談窓口を設置するとともに、関係団体、事業者から聞き取りや相談の受け付けを実施。

○　10月22日時点で4,340件(燃料油等：608件、石油製品等3,732件)のご相談・問い合わせをいただいているところ、経済産業省と連携して石油元売り事業者等に働きかけを行い、目詰まりの解消に向けて対応。

【情報収集と対応の流れ】



農林水産分野における体制の構築②

農林水産業・食品産業関係の生産・加工・流通業者の皆様へ

燃料油や石油製品等の供給に関する相談窓口を設置しました

農林水産省では、燃料油や石油製品等の供給に関する相談窓口を設置しています。
中東情勢の影響により、燃料油や石油製品等の確保に不安がある場合は、お早めにご相談ください。

生産・加工・流通現場における燃油確保等のご相談はこちら

大臣官房政策課食料安全保障室
メール： anposhitu_chutokankei@maff.go.jp



農林水産省

相談窓口連絡先一覧　　令和８年４月23日現在　（別添）

業種	担当部署名	メールアドレス　※［★］を［@］に置き換えてください。
農業	農産局技術普及課	nousan_seisansizaikyoukyuu_gifuka★maff.go.jp
	北海道農政事務所生産経営産業部生産支援課	nousan_seisansizaikyoukyuu_hokkaido★maff.go.jp
	東北農政局生産部環境・技術課	seigika_tohoku★maff.go.jp
	関東農政局生産部環境・技術課	kantoseigi★maff.go.jp
	北陸農政局生産部環境・技術課	seigikan_hokuriku★maff.go.jp
	東海農政局生産部環境・技術課	seisannenyu_tokai★maff.go.jp
	近畿農政局生産部環境・技術課	kinki_shizai★maff.go.jp
	中国四国農政局生産部環境・技術課	chushi_nenyu★maff.go.jp
	九州農政局生産部環境・技術課	kyusyu-agri-gasoline-information★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局生産振興課	okinawa.seisan.v6g★ogb.cao.go.jp
畜産業	畜産局企画課（畜産経営関係）	chikusan_soudan★maff.go.jp
	畜産局飼料課（飼料製造関係）	feed-support★maff.go.jp
	畜産局牛乳乳製品課（牛乳乳製品製造関係）	gyunyu_sokatsu★maff.go.jp
	畜産局食肉鶏卵課 食肉流通班（食肉処理施設関係、食肉加工メーカー関係、鶏卵・鶏肉関係、レンダリング施設関係）	shokuniku_soumuML★maff.go.jp
	北海道農政事務所生産支援課	rakuchiku_hn★maff.go.jp
	東北農政局畜産課	chikusan_tohoku★maff.go.jp
	関東農政局畜産課	tikusan_kanto★maff.go.jp
	北陸農政局畜産課	tikusan_hokuriku★maff.go.jp
	東海農政局畜産課	tokai_chikusan_info★maff.go.jp
	近畿農政局畜産課	kinki_chikusan_info★maff.go.jp
	中四国農政局畜産課	tikusan_ka.chushi★maff.go.jp
	九州農政局畜産課	kyusyu_chikusan★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局生産振興課畜産振興室	okinawa_chikusan.v4f★ogb.cao.go.jp

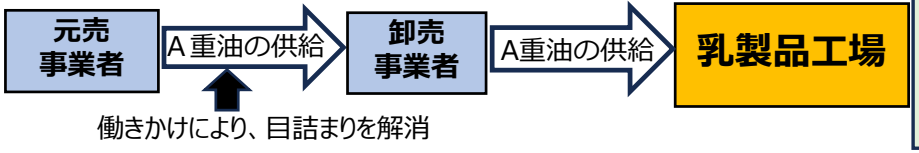
業種	担当部署名	メールアドレス　※［★］を［@］に置き換えてください。
林業・木材産業	林野庁林政課	rinya_rinsei★maff.go.jp
水産業	水産庁漁政部加工流通課、資源管理部管理調整課・国際課、増殖推進部栽培養殖課	gyogyou_sekiyu★maff.go.jp
食品産業	大臣官房新事業・食品産業部食品製造課	seizou_info★maff.go.jp
	北海道農政事務所生産経営産業部事業支援課	hk_seizou_info★maff.go.jp
	東北農政局経営・事業支援部食品企業課	nenyusoudan_tohoku★maff.go.jp
	関東農政局経営・事業支援部食品企業課	foodindustry_kanto★maff.go.jp
	北陸農政局経営・事業支援部食品企業課	nenyusoudan_hokuriku★maff.go.jp
	東海農政局経営・事業支援部食品企業課	shokuhinnenyu_tokai★maff.go.jp
	近畿農政局経営・事業支援部食品企業課	kinkishokuhin_info★maff.go.jp
	中国四国農政局経営・事業支援部食品企業課	shokuhin_chushi★maff.go.jp
	九州農政局経営・事業支援部食品企業課	seizou_info_kyushu★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局農林水産部食料産業課	butsuryu_sodan_oki.k6h★ogb.cao.go.jp
その他	大臣官房政策課食料安全保障室	anposhitu_chutokankei★maff.go.jp
	北海道農政事務所企画調整室	hokkaido_kikaku★maff.go.jp
	東北農政局企画調整室	tohoku_kikaku★maff.go.jp
	関東農政局企画調整室	kanto_kikaku_web★maff.go.jp
	北陸農政局企画調整室	hokuriku.kikakutyousei★maff.go.jp
	東海農政局企画調整室	nenyu_tokai★maff.go.jp
	近畿農政局企画調整室	sekiyu_others_kinki★maff.go.jp
	中国四国農政局企画調整室	dm_chushi_kikaku★maff.go.jp
	九州農政局企画調整室	kyusyu-sonota-info★maff.go.jp
	内閣府沖縄総合事務局農政課	okinawanousei★maff.go.jp

燃料油等の流通の目詰まりに関する対応

目詰まりの解消事例

・農業関連団体で農作業に必要な軽油・灯油を確保（福井）
・乳製品工場（脱脂粉乳製造工場）、豆腐製造事業者、製麺工場、油脂や飼料・肥料原料の製造を行う工場での加工、養殖用の稚魚や畜産用の飼料工場で必要なA重油を確保（岩手、愛知、兵庫、奈良）
・漁船に使用する潤滑油を確保（福井）

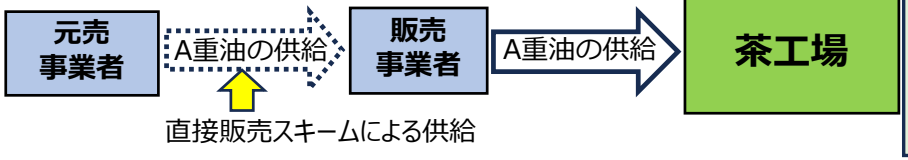
【目詰まり解消事例の流通フロー（乳製品工場への事例）】



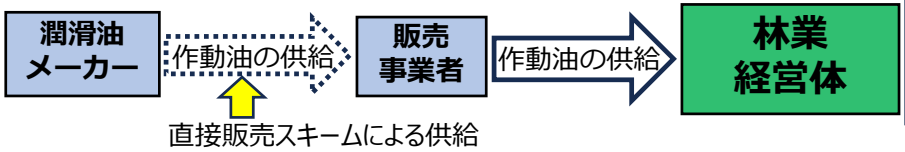
○　地域の基幹的な乳製品工場において、使用するＡ重油の４月上旬以降の供給が確保できていなかった
○　経済産業省と**連携した働きかけ**により、主要な元売事業者から**前年実績分**までのA重油を供給

（以下、直接販売スキームによる目詰まりの解消事例）
・農業機械、林業経営体の作業、集成材メーカーの作業、漁船、乳用牛飼養に使用する車両等に必要な潤滑油について、石油元売会社等からの直接販売を実施（岩手、富山、石川、兵庫、三重、愛媛、山口、長崎）
・茶製造、漁船の運行に必要なA重油について、石油元売会社からの直接販売を実施（静岡、三重、滋賀、和歌山、愛媛、鹿児島）

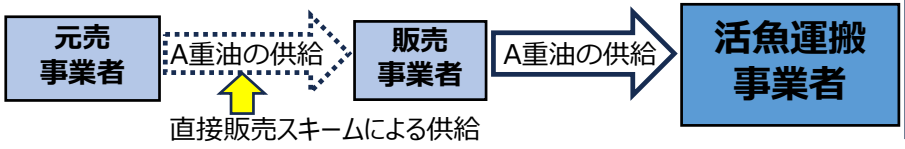
【直販スキームの流通フロー（茶工場、林業経営体、活魚運搬事業者への事例）】



○　**一年を通じて最も重要な一番茶のシーズン**である４・５月にお茶産地の茶工場などから、「**A重油が足りなくなる**」との複数の御相談
○　元売事業者からの**直接販売**により、燃油確保に不安のあった茶工場にA重油を供給



○　**林業経営体**から、森林整備や木材生産に使用する**林業機械（重機）の作動油**が入手困難との御相談
○　潤滑油メーカーからの**直接販売**により、御相談のあった経営体に作動油を供給



○　養殖用のカンパチの稚魚を輸入する**運搬事業者**から、**外国海域の航行に必要な硫黄分の低いＡ重油**が不足しているとの御相談
○　元売事業者から**直接販売**により供給を行い、稚魚の輸入が実現

石油製品等の流通の目詰まりに関する対応

目詰まりの解消に向けた取組

○　**農林水産業・食品産業**の**サプライチェーンの上流から下流**に渡り利用されている**多種多様な資材**について、**流通構造等の実態把握**を実施し、**６１調査項目**について、**全体として、供給に問題がない**ことを確認。

○　農業用マルチ等のプラスチック製農業資材や、石油由来の食品容器包装については、関係団体・事業者に対して、**調達支障時の関係者との協議や、供給困難になる前の農林水産省への早めの相談、受発注の平準化などを要請**。
（→詳細は次ページ）

○　**実態把握**を通じて得られた情報や**相談窓口**に寄せられた情報に基づき、経済産業省と連携して、供給の偏り・流通の目詰まりを解消。

目詰まりの解消事例等

・豆腐製造事業者で豆腐を入れる容器を確保（宮城、新潟、愛知）
・調味料・酒類・乳製品製造業者で業務用液体容器を確保（北海道、京都、広島、愛媛、熊本）
・農業関連団体で農産物出荷用の包装・梱包資材を確保（北海道、福島、茨城、栃木、群馬、神奈川、愛知、滋賀、兵庫、島根、岡山、福岡、長崎、宮崎）
・菓子製造業者で菓子用包材を確保（高知、大分、鹿児島）
・インク溶剤・梱包資材・加工食品メーカーに包材用インク溶剤の継続的な供給が可能と確認（愛知、大阪、宮崎）

【プラ製農業資材の流通フロー】

原料メーカー【ポリエチレン等】 → 製造メーカー【農業資材】 → 流通事業者【卸･小売】 → 需要家

○　「コメ袋」については、経済産業省の協力の下、原料メーカーからポリエチレンの安定的な供給が継続される見通し

○　「農業用マルチ」も、当面概ね前年実績の供給が可能であることを確認

【調味料の業務用容器の流通フロー】

原料メーカー【ポリエチレン等】 → 製造メーカー【食品容器包装】 → 食品産業事業者 → 実需者･消費者

○　調味料製造メーカーの業務用容器である、「BIB（Bag in Box）」の一部に供給の懸念があるとの情報を受け、関係事業者と供給状況等について情報交換を実施し、「BIB」について、業務用容器メーカーから当面の供給が可能であることを確認

農林水産省から事業者等への要請の状況

発出先・要請相手	品目	日付
木材産業関連団体（一般社団法人全国木材組合連合会、日本合板工業組合連合会等）	木製品に係る石油関連の原材料	4/15
農業用マルチ等プラスチック製農業資材製造事業者・流通事業者、生産者団体（全国農業協同組合連合会、一般社団法人全国農業協同組合中央会、公益社団法人日本農業法人協会）	農業用マルチ等プラスチック製農業資材	4/24
食品容器包装等製造事業者・流通事業者、食品産業関係団体（日本チェーンストア協会、一般社団法人日本パン工業会等）、水産関連団体（全国漁業協同組合連合会、一般社団法人大日本水産会等）	石油由来の食品容器包装等	4/30
農業機械関連団体（全国農業協同組合連合会、全国農業機械商業協同組合連合会、一般社団法人日本農業機械化協会）	潤滑油等	5/12
畜産業関連資材製造・流通事業者、畜産関連団体（公益社団法人中央畜産会、日本草地畜産種子協会等）	畜産業関連資材	5/20
林業・木材産業関連資材製造・流通事業者、林業・木材産業関連団体（全国森林組合連合会、一般社団法人全国木材組合連合会等）	林業・木材産業資材	5/20
畜産関連団体（公益社団法人中央畜産会、日本草地畜産種子協会等）、林業・木材産業関連団体（全国森林組合連合会、一般社団法人全国木材組合連合会等）	潤滑油等	5/20

農林水産業・食品産業に関する「目詰まり対策」

中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保のためのタスクフォース（第６回）資料

○　燃料油やナフサ由来の石油製品等に関する**相談等件数は10月に入ってからもごく少数で推移**。

○　引き続き、主要な資材について、主要な事業者からの**定期的な聞き取りを実施するなど、継続的な現場実態の把握**に努める。

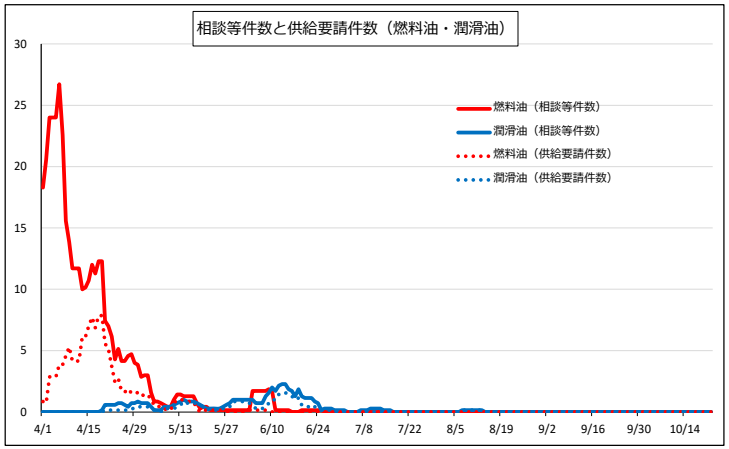
１．相談件数等の推移

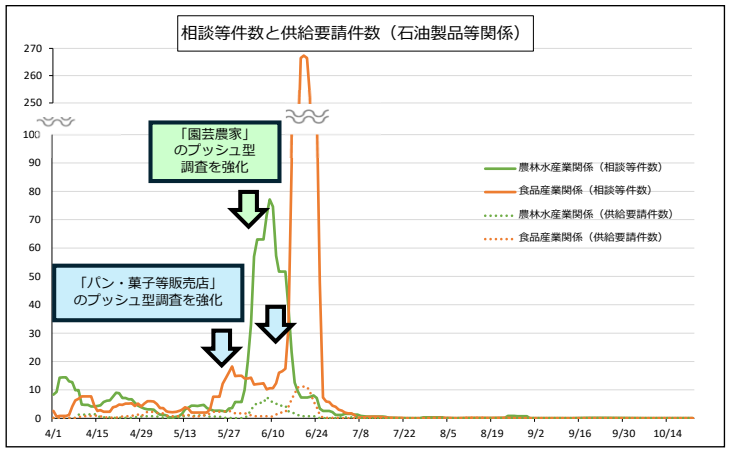
○　７月以降、燃料油やナフサ由来の石油製品等については、**相談等件数、供給要請件数ともに少数で推移**。

○　１０月に入ってからも**新たに寄せられた相談件数はごく少数**（石油製品に関する情報提供２件のみ）。

○　これまでに寄せられた供給要請案件については、**全件の対応を完了**。

【相談等件数と供給要請件数の推移】





※ 相談等件数は、７日間移動平均の推移（件/日）（４/１－10/22（10/22までの件数を上記グラフに反映））
供給要請件数は、相談等件数のうち、具体的な物資について目詰まりの解消を求めるものの件数（将来の供給に関する懸念や情報提供等は含まない。）

【対応の状況】 相談等件数　4,340件
うち供給要請件数　346件（燃料油等 75件、石油製品 271件）
うち対応完了件数　346件

2．実態把握の取組

○　食品産業関係の業界団体・事業者と事務局（農林水産省・経済産業省）からなる**食品容器包装等情報交換会をこれまでに４回開催（次回第５回は11月６日に開催予定）**。引き続き、農林水産業・食品産業で使用される主要な資材について、**主だった事業者からの聞き取りを定期的に実施するなど、継続的に現場実態の把握**に努める。

農林水産業・食品産業関連資材の流通実態の把握について 【R8.６.26】

令和８年６月26日
閣議後大臣会見で
公表

- **農林水産業・食品産業で使用される資材**について、**流通構造等の実態把握**を実施。
- 以下の**６１調査項目**について、業界シェアで過半以上に相当する事業者からの聞き取り等により、**全体として、供給に問題がない**ことを確認。
- 資材供給に問題が生じる場合については、一つ一つ解決に取り組む。

業種	調査項目
農業	**【生産】** ・農業用マルチフィルム ・ハウス用ビニール ・茶用被覆資材 ・育苗トレー ・肥料袋 ・肥料 ・農薬 ・サイレージ用ラップ ・飼料添加物 ・牛用個体識別耳標 ・人工授精関係資材（牛豚用） ・高分子凝集剤（家畜排せつ物処理用） **【流通】** ・コメ袋 ・パン袋 ・小麦粉袋（家庭用） ・野菜包装資材 ・カット野菜用包装資材 ・カットフルーツ用包装資材 ・茶用包装資材 ・卵パック ・牛乳パック ・ヨーグルト用プラスチック容器 ・フレコンバッグ ・食肉包装フィルム ・包材（液卵・粉卵） ・エチレン（追熟等）
林業	**【生産】** ・チェーンソーオイル ・きのこ菌床袋 ・きのこ種菌ボトル ・苗木コンテナ ・獣害防止用ネット ・くん蒸シート（森林病害虫対策用） **【流通】** ・接着剤 ・木材包装資材（結束バンド、包装用シート） ・きのこ包装資材
水産業	**【生産】** ・漁網　・ロープ **【流通】** ・発泡スチロール箱　・魚の保護用フィルム（パーチ）
食品産業	**【製造】** ・植物油製造関係資材（ヘキサン、苛性ソーダ） ・植物油検査溶剤(キシレン) ・食品分析関係資材（ヘリウム） **【流通】** ・食品トレー ・業務用ラップ ・豆腐容器 ・納豆容器 ・漬物容器 ・レトルト食品袋 ・カップ麺容器 ・乾麺包装 ・植物油容器 ・醤油容器 ・味噌容器 ・調味料容器 ・砂糖袋（家庭用） ・菓子袋 ・コーヒー容器 ・アルミ箔 ・冷凍食品袋 ・飲料ペットボトル ・弁当、惣菜の容器包装